

全熱交換型第1種セントラル換気装置

取付工事説明書

型式 AVH-95

販売店・工事店様用

1. 安全のために必ず守ること

- 安全に正しく取り付けていただくために
必ずこの説明書をお読みください。
- 取付工事は専門の工事店が行ってください。
- 別冊の取扱説明書は必ずお客様に
お渡しください。

■もくじ

1. 安全のために必ず守ること	1ページ
2. 外形寸法図	2ページ
3. 取付方法	4ページ
4. 電気工事	7ページ
5. 試運転	10ページ
6. 風量調節方法	10ページ
7. 確認事項	11ページ
8. 仕様	11ページ

守ることを表示によってお知らせします

	警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
	注意 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されます。
	この表示は気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
	この表示はしてはいけない「禁止」の内容です。
	この表示は必ず実行していただく「強制」の内容です。

 警告	
	・交流100V以外では使用しないでください。 (火災の恐れがあります) ・分解、修理はしないでください。 (火災や感電、けがの原因になります) ・湿気の多いところには本体、風量コントローラを取り付けしないでください。 (感電、漏電の原因になることがあります)
	・外気の入入れは、燃焼ガスなどの排気を吸い込まない位置、 積雪で埋もれたりしない位置を選んでください。 (新鮮な空気が入り入れられず、室内が酸欠状態になる恐れがあります) ・本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。 (落下によりけがをすることがあります)

⚠ 警告



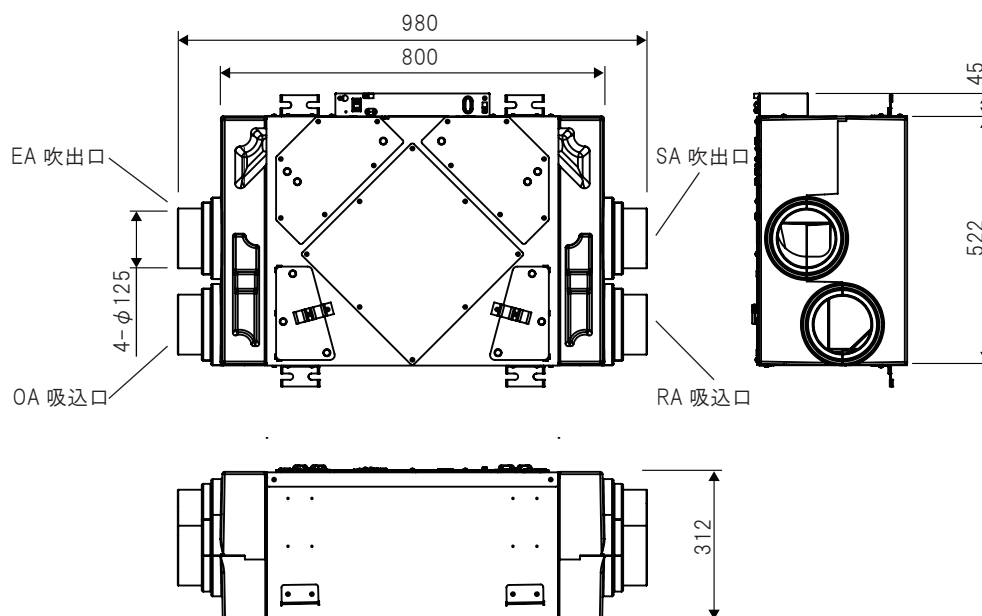
- ・指定の電線を使用して、抜けないよう確実に接続してください。
(接続に不備があると火災の恐れがあります)
- ・配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。
(接続に不備があると火災の恐れがあります)
- ・メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造園物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付けてください。
(漏電した場合は発火することがあります)
- ・アースを確実に取付けてください。
(故障や漏電のときに感電することや、テレビなどへ電波障害を与える影響があります)

■お守りください

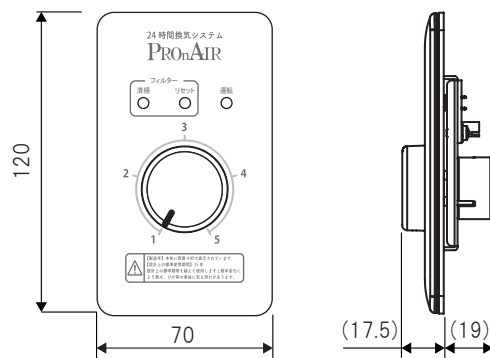
- ・日常のお手入れや点検修理のため、所定の位置に点検口(口600以上)を設置してください。
- ・本体及びダクト配管全てには必ず断熱空間内に設置してください。
(断熱空間外に設置した場合、ドレンや結露が発生する原因となります)
- ・本体は寝室の近くに設置しないでください。
- ・フィルター清掃が必要なため、本体は掃除のしやすい場所に設置してください。
- ・OA,EAダクトは外壁に向かって1/100以上の下り勾配を設けてください。
- ・OAダクトは雨水等の侵入を防ぐために2m以上の距離を確保してください。
- ・屋外フードは防虫網付は使用しないでください。
- ・1,2地域(R2年省エネルギー基準)や外気が連続3時間以上-10℃以下になる地域は「感温リードスイッチ」(別売)を必ず取り付けてください。
- ・本品のダクト接続部が発砲スチロールで構成されております。据付時の破損にはご注意ください。
- ・酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など有害ガス・腐食成分を含んだガスが発生する場所には設置しないでください。

2. 外形寸法図

■本体外形寸法



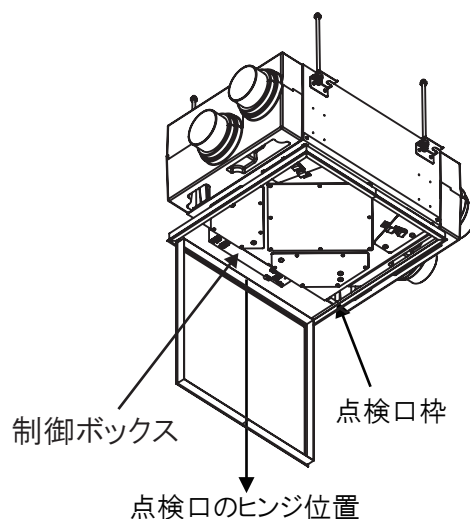
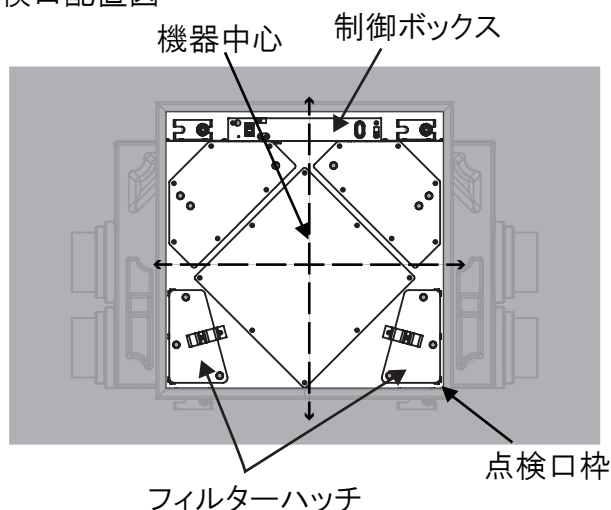
■風量コントローラ外形寸法



■付属部品

- ・取扱説明書 1冊
- ・取付工事説明書 1冊
- ・本体吊金具 4個
- ・吊金具取付ネジ 8本
- ・風量コントローラ 1個
- ・コントローラケーブル(5m) 1本
- ・六角レンチ 1本

■点検口配置図



- ・日常のお手入れや点検修理のため必ず点検口(□600mm)を設置してください。
- ・本体下面(床下の場合は本体上面)の点検口中心位置を基準に、本体と点検口の位置関係を確認してください。
- ・点検口のヒンジ位置は、必ず制御ボックス側になるように設置してください。
- ・点検口の中心とラベルの機器中心を合わせて設置してください。
- ・フィルターハッチ及び制御ボックスが点検口の内側に設置されていることを確認してください。

⚠ 注意

- ・点検口は□600mm以上のものを使用し、所定の位置に取り付けてください。
(点検口のズレなどによりメンテナンスができず、やむをえず点検口を広げるなどの追加工事が発生する場合があります。追加工事にかかる費用は工事店様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください)

3. 取付方法

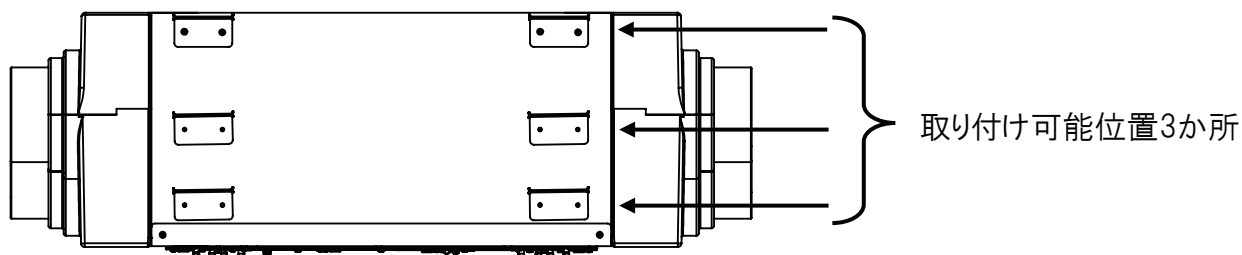
■ 本体の取り付け

1) 吊金具セット(別売品)の取り付け

本体取付図の吊ピッチを参照して、吊金具セットを十分強度のある角材に取り付けてください。

2) 本体吊金具の位置調整

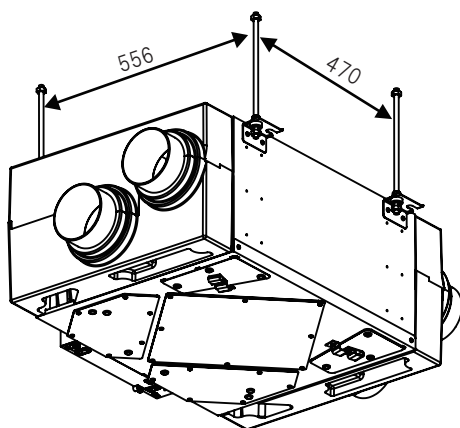
本体吊金具は下記の位置に取付けが可能です。現場の状況により位置を調整してください。



3) 本体の取り付け

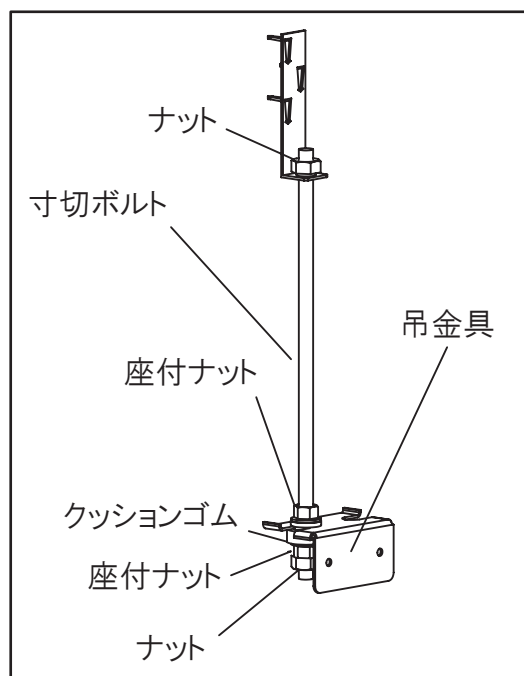
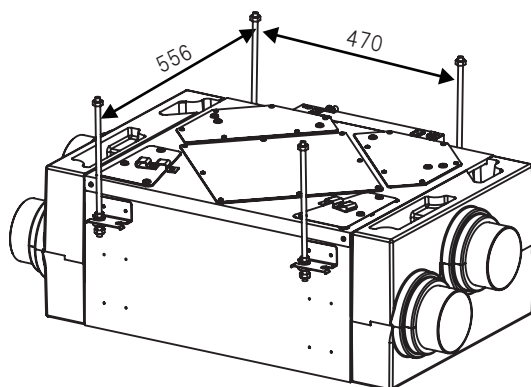
① 天井吊の場合

別売の吊金具セットを下記のようにセットして、本体を吊り下げてください。



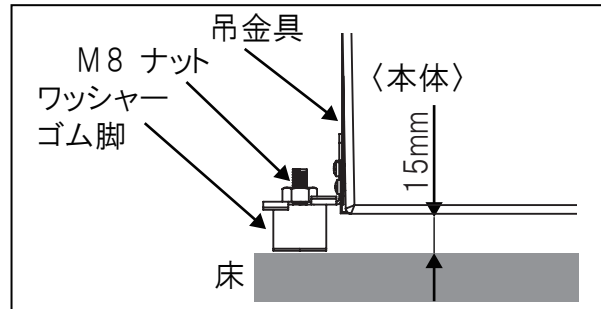
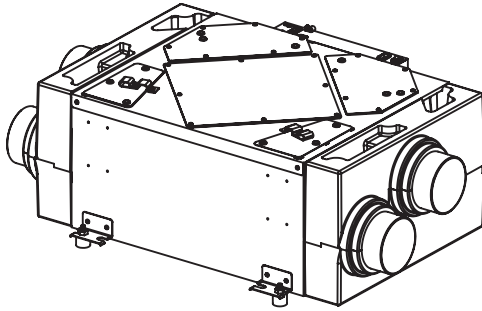
② 反転設置の場合(吊設置)

別売の吊金具セットを下記のようにセットして、本体を吊り下げてください。



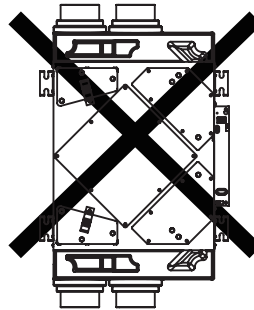
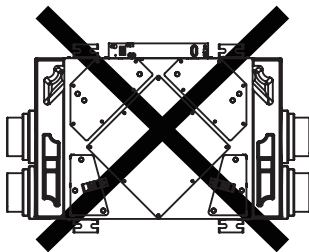
③反転設置の場合(床置き)

別売の床置き防振ゴムセットを下記のようにセットして、本体を据え置にしてください。



警告

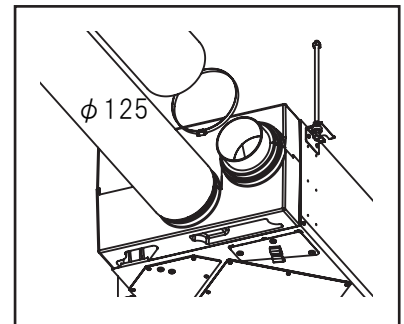
・本体の横置き又は縦置きはできません。結露水が流れてショート・感電の原因となります。



■ダクト配管

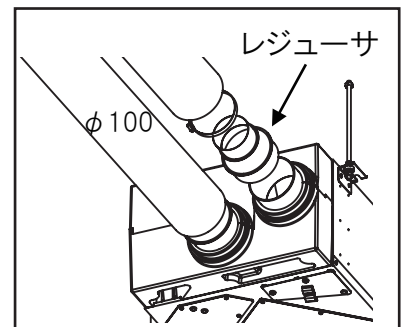
1) $\phi 125$ ダクトの場合

- ・本体接続口にダクトを確実に差し込み、別売のダクト締め付けバンドにて固定してください。
- ・市販のダクトテープで固定後、接続部を断熱テープなどで断熱処理をしてください。



2) $\phi 100$ ダクトの場合

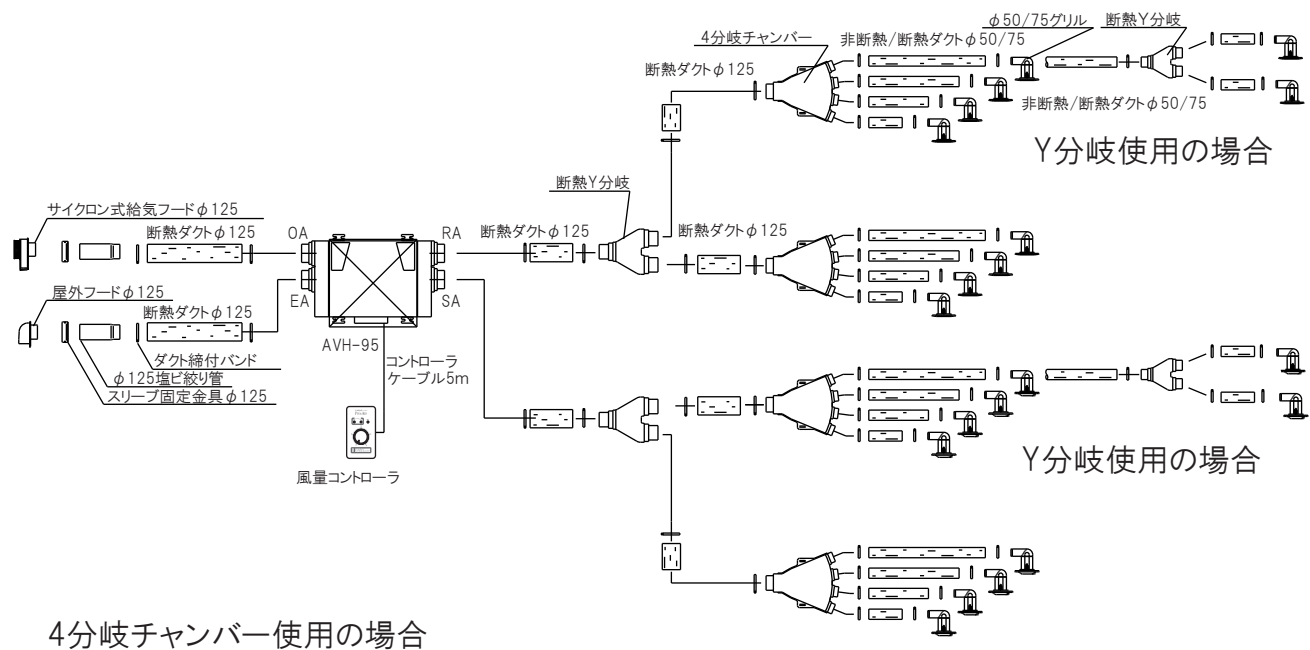
- ・本体接続口に、別売の「換気本体用レジューサ $\phi 125-\phi 100$ 」を差し込み、市販のダクトテープで固定してください。
- ・レジューサにダクトを確実に差し込み、別売のダクト締め付けバンドにて固定してください。
- ・市販のダクトテープで固定後、接続部およびレジューサ表面を断熱テープなどで断熱処理してください。



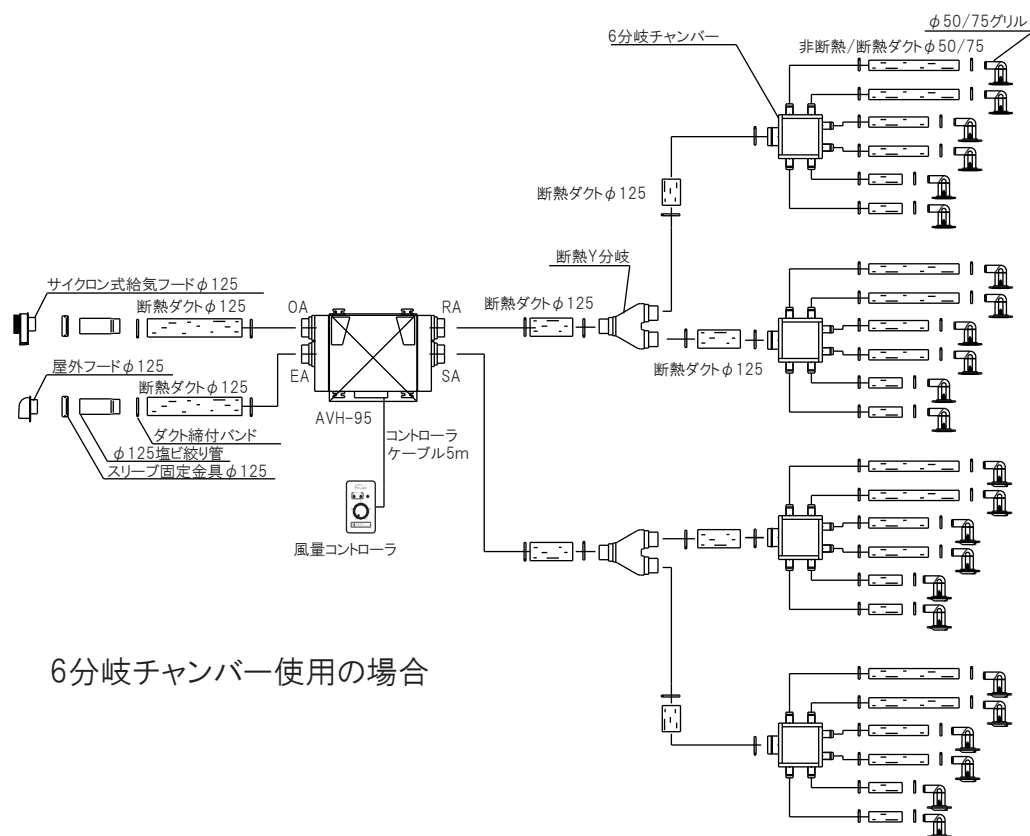
注意

- ・屋外貫通部、ダクトの継手部分、Y管、チャンバーの接続部分は必ず断熱処理をしてください。
- ・給気フードと排気フード又はレンジフードや浴室などの排気フードとは2m以上離してください。
- ・給気フードは、燃焼機器の排気トップと同面に設置しないでください。
- ・下記のようなダクトの配管工事は風量低下の原因になります。
①極端な曲げ②吐出口付近の曲げ③多数回の曲げ④ダクトを潰して径を小さくする
- ・チャンバーから2m以下の給排気グリルの設置の場合は本体の騒音がダクト内で共鳴しますので、騒音が予想される場合は、2m以上の距離を確保するか消音性のあるダクトを使用してください。

3)システム配管図(4分岐チャンバー)



4)システム配管図(6分岐チャンバー)

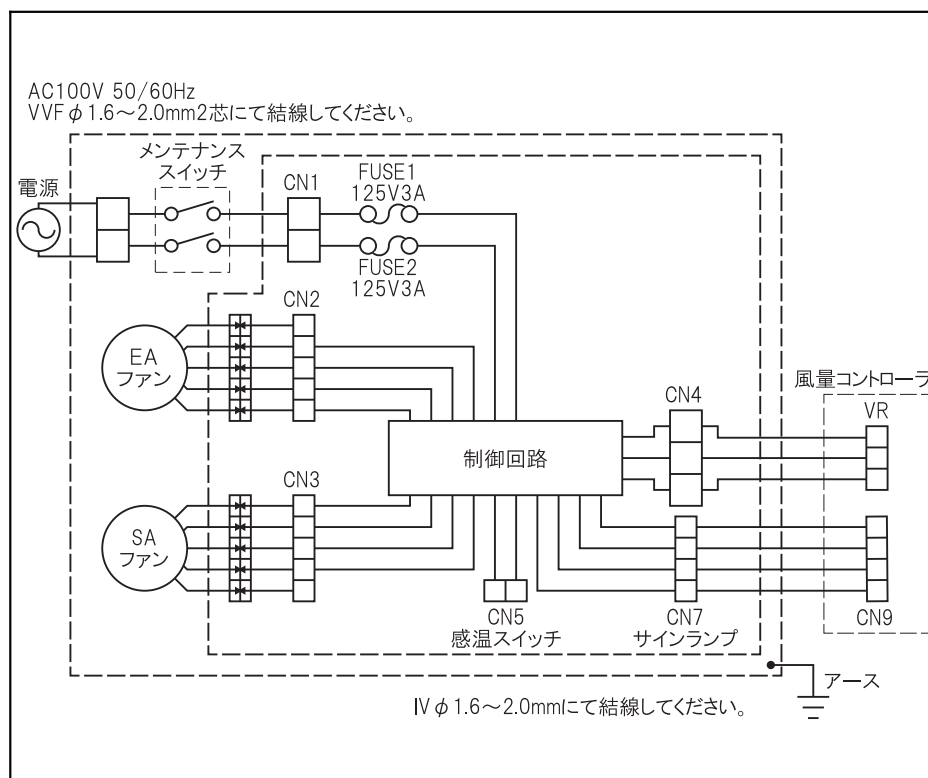


4. 電気工事

■電気配線工事、接続工事は、必ず電気工事店様へご依頼ください。

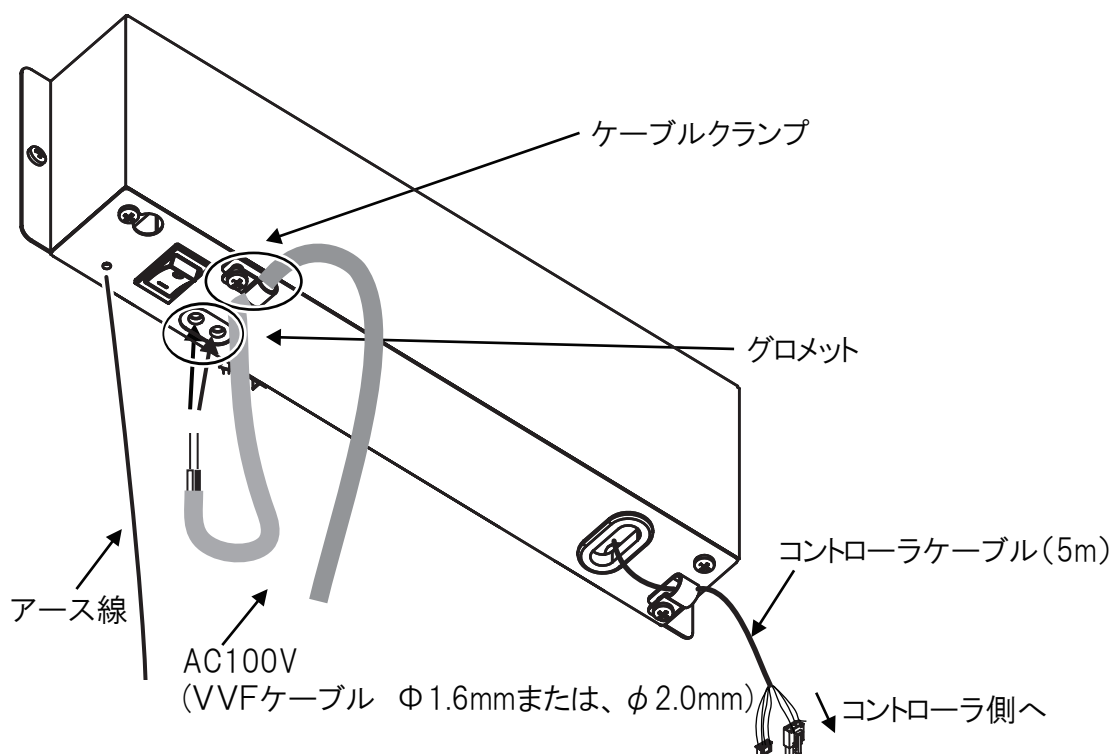
 警告	
	交流100V以外では使用しないでください。 (火災の恐れがあります)
	・指定の電線を使用して、抜けないよう確実に接続してください。 (接続に不備があると火災の恐れがあります) ・配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。 (接続に不備があると火災の恐れがあります) ・アースを確実に取付けてください。 (故障や漏電のときに感電することや、テレビなどへ電波障害を与える影響があります) ・電源線・連結電線・アース線は接続部に力が加わらないようにたるみをもたせてください。

■結線図



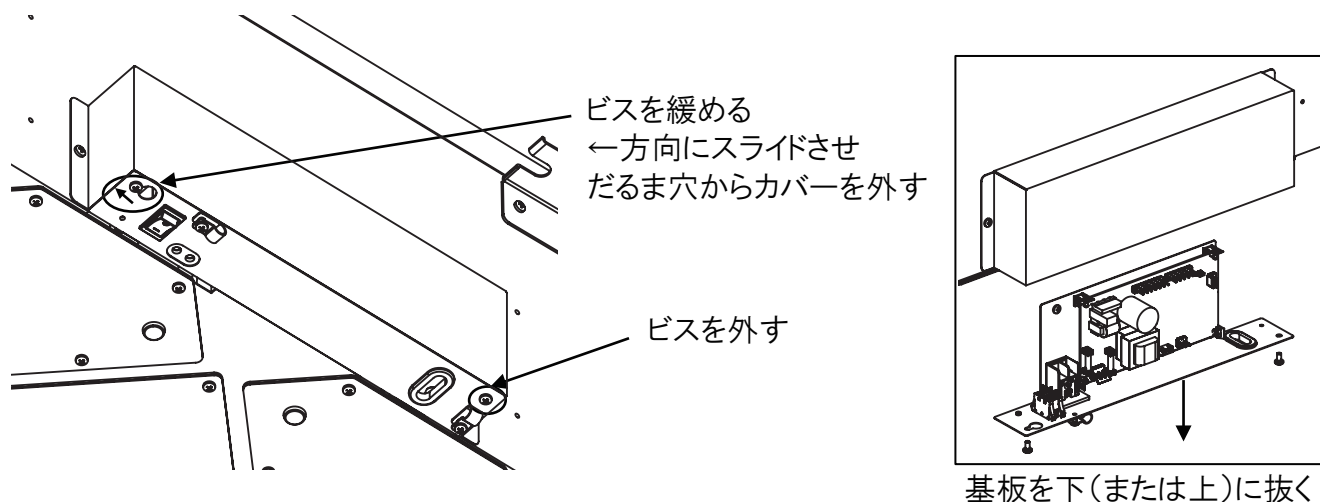
1) 本体結線

- ・電源線はVVFケーブルのφ1.6mmまたは、φ2.0mm単線を使用してください。
- ・電源線を下図グロメット部の奥の端子台に確実に差し込んで、ケーブルクランプに固定してください。
- ・アース工事(D種接地工事)行ってください。
- ・本体から出ているコントローラケーブルをコントローラの取付場所まで配線してください。



2) 感温リードスイッチの取付

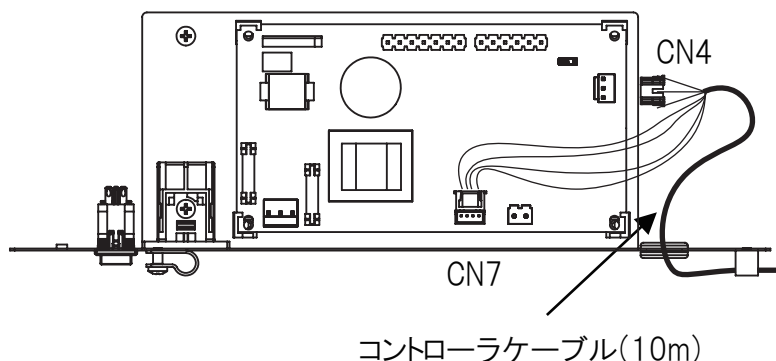
- ・1,2地域(R2省エネ基準)の寒冷地に設置する場合は、感温リードスイッチを取り付けてください。
感温リードスイッチは外気が -5°C ($\pm 4^{\circ}\text{C}$)になったら感知してエレメントの凍結防止機能が働きます。
- ・制御ボックスのビスを外し、基板を下図のように引き出します。



-



- ・風量コントローラにコントローラケーブルが届かない時は、付属のコントローラケーブル(5m)を外して、別売のコントローラケーブル(10m)を使用してください。



⚠ 注意

- ・釘、ビスなどでコントローラケーブルに傷をつけないような位置で配線してください。

5. 試運転

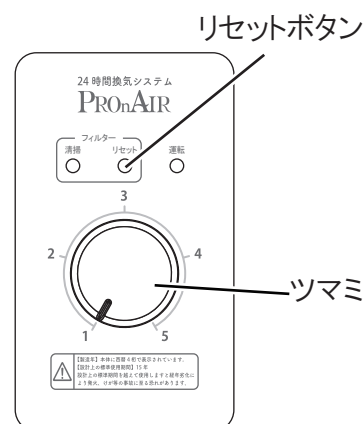
- 取付工事が完了したら、結線をもう一度確認し、必ず試運転を行ってください。
- 分電盤のブレーカ及び本体のメンテナンススイッチを入れ、本体が運転を開始することを確認してください。
- 運転確認後、本体のメンテナンススイッチは必ずONにし、その後の操作はブレーカで行ってください。

お願い

- ・住宅の工事期間中、引き渡しまでの間に本機が運転されている場合があります。このような場合は、工事現場の空気の汚れにより、本機及び各グリルのフィルターが目詰まりしている場合があります。お客様への引き渡し前に、フィルターの清掃をしてください。フィルター清掃後は、リセットボタンを押して一度リセットしてください。

6. 風量調整方法

- ・本製品は、給気と排気を同時に風量調整することができます。
- ・換気計算に基づき指定の位置になるようにツマミを回して調整します。
- ・風量調整後は、給気グリル及び排気グリルの風量を確認し、必要換気量を満たない場合は再調整してください。
- ・風量調整位置に合わせたら、同封されている青色のマーカーラベルを「1」～「5」の番号の上に貼り付けます。



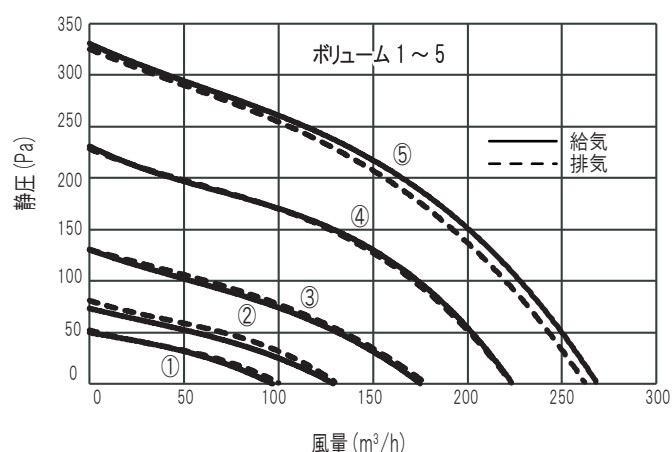
7. 確認事項

- ・本体、ダクト配管には断熱処理が行われていますか。
- ・本体のメンテナンススペースは確保されていますか。
- ・結線は正しく行われていますか。
- ・1,2地域(R2年省エネ基準)へ設置された場合は、感温リードスイッチを取り付けましたか。
- ・別冊の取扱説明書最終項の「お問い合わせ窓口」の欄に工事店様、又は販売店様の連絡先をご記入ください。

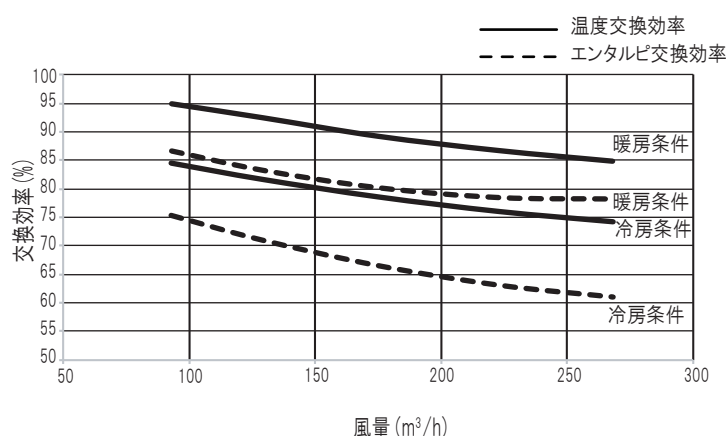
8. 仕様

形 式		AVH-95				
電 源		AC100V 50Hz／60Hz				
風 量 調 整 位 置		①	②	③	④	⑤
消 費 電 力 (W) (0 Pa 時)		11	19	31	54	85
風 量 (m³/h) (0 Pa 時)給気		97	129	175	223	268
風 量 (m³/h) (0 Pa 時)排気		100	130	178	223	262
温 度 交 換 効 率 (%)	暖房時	95	92	89	87	85
	冷房時	84	81	78	76	75
エンタルピ交換効率 (%)	暖房時	86	83	80	78	78
	冷房時	75	70	66	63	61
騒 音 (dB)		19	24	26	30	34
有 効 換 気 量 率 (%)		95				
フィルター捕集効率 (%)重量法		76				
本 体 寸 法 (mm)		W981×D569×H312				
本 体 質 量 (kg)		17				

AVH-95 P-Q 特性



AVH-95 熱交換効率



お問い合わせ先

商品については下記にお問い合わせください。

※上記欄に、工事店様(または販売店様)の連絡先を記入ください。

<製品に関するお問い合わせ／お客様サポート窓口（平日 9:00 ～ 18:00）>

ONREI

株式会社 オンレイ

〒130-0012 東京都墨田区太平 3-1-5 淡海ビル 3 階

TEL：03-5619-4601

URL：<https://www.onrei.jp/pronair>

MAIL：info@onrei.jp

プロネア URL

